



21年目を迎えた ColdFusion の
いまとこれから

このセッションについて

ColdFusion Summit 2016
2016.10.9 - 11 Las Vegas

- 「Keynote - Adobe ColdFusion Summit 2016 – FINAL.pdf」
 - 「Where is ColdFusion Headed.pdf」
- より抜粋した情報をご紹介します

※資料はメーカー公式ブログ (<http://blogs.coldfusion.com/>) の [Adobe ColdFusion Summit 2016 - Presentation Files for Download](#) よりダウンロード可能です。

ColdFusionのいま

ColdFusionについて

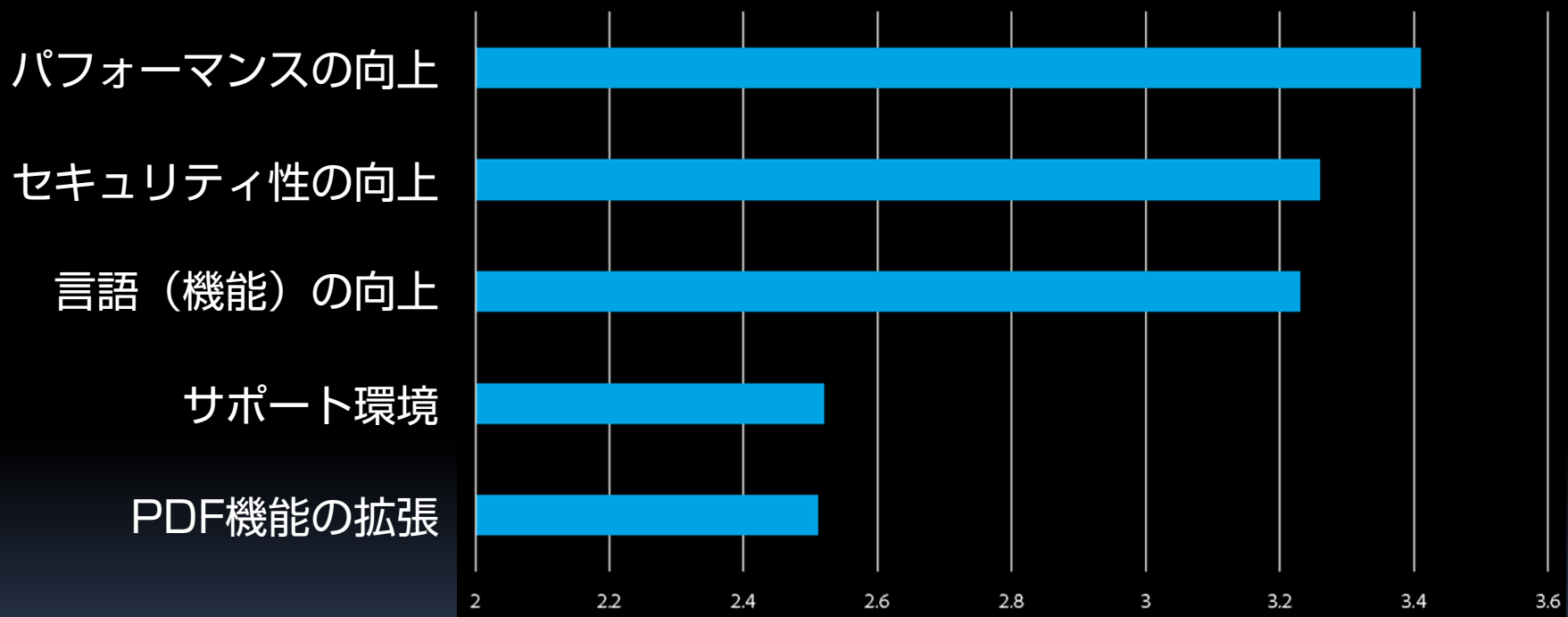
- 21年目
 - そしてなお引き続き好調
- 二桁成長
 - 昨年度比
- 2000の新しい顧客
 - 昨年一年間で

最新バージョンのいま

- Adobe ColdFusion 2016 リリース
 - 販売開始：2016年2月16日
 - International English 版 / 日本語版
 - アップデータ：Update 3 (2016年11月1日現在)
 - (Update 3) – 180 個の修正
 - 構造体キーのソート、StructToSorted, QueryGetResult, IsDateObject 追加やいくつかの関数の変更
 - (Update 2) – 70 個の修正
 - JSONシリアライズ強化
 - cftextarea visual editor: FCK Editor → CK Editor
 - (Update 1) – 20個の修正
 - Tomcat Upgrade: → 8.0.32

2016にアップグレードする動機

■ ColdFusion 2016 にアップグレードする動機



パフォーマンス比較 (vs. CF11)

- パフォーマンスの向上
 - ColdFusion 11 と比較して 30% の改善
 - クエリキャッシュ処理 822%
 - ファイル機能 67%
 - リスト機能 66%
 - 空白処理 25%
 - スコープ検証 25%
 - ループ処理 22%

セキュリティ・言語

- セキュリティ性の向上
 - cfscripts フォルダを CFIDE 外に移動
 - IIS / Apache 経由での CF Administrator アクセスをブロック
 - 最新の Server JRE(1.8.x)、Tomcat (8.x)
 - (Enterprise) コード・セキュリティ・アナライザ
- 言語（機能）の向上
 - セーフナビゲーション (?.)、構造体、他
 - CLI
 - (Enterprise) API Manager

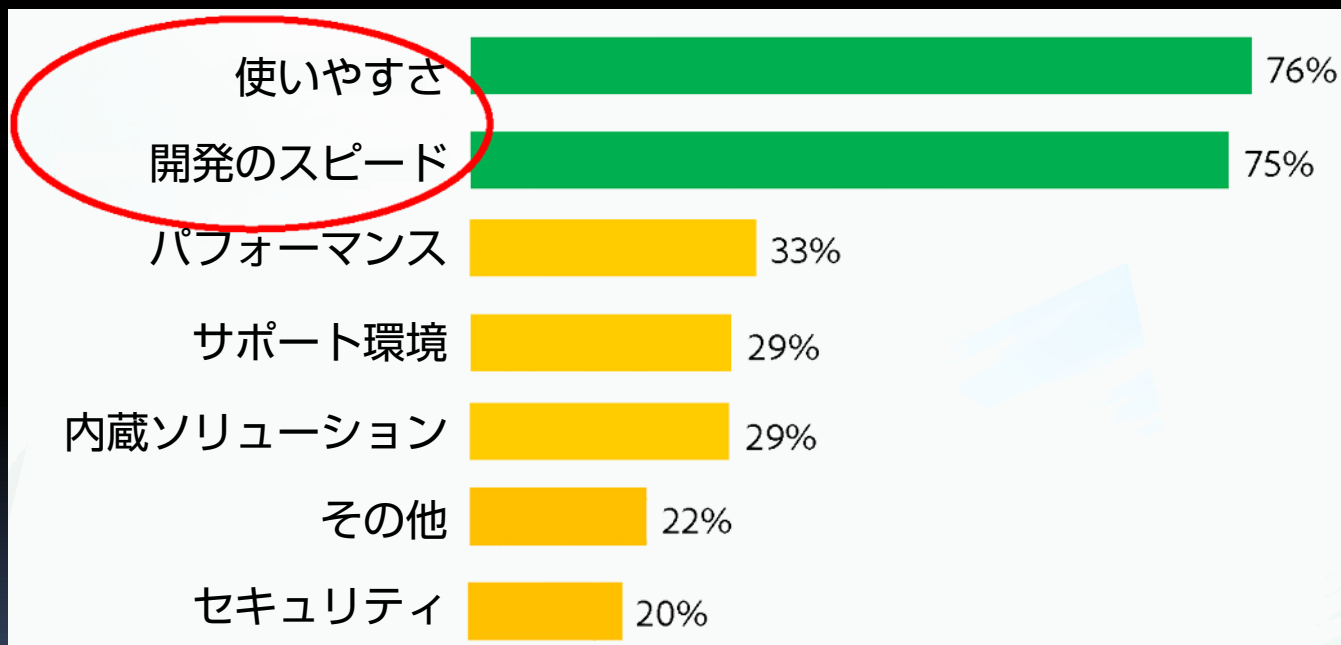
アンケートから見るColdFusionの いま

①SUMMIT参加者向けアンケートより

- ColdFusion Summit 参加者へ事前アンケート
 - 回答：435名
 - 内訳
 - ウェブ開発者 51%
 - ウェブアーキテクト 20%
 - 経営者 14%
 - コンサルタント 5%
 - システム管理者 3%
 - 他 7%

ColdFusionの根強い人気のワケは？

- ColdFusionが優れていると思う点



ColdFusionアプリケーションの性質

- 社外向けWebサイトにColdFusionを採用している割合は？

86%

ColdFusion を使用した
社外向けWebアプリケーションの割合

クラウドでの稼働が進む

- クラウド上にColdFusionをインストールしている割合は？



②セッション参加者アンケートより

- 「Where is ColdFusion Headed」セッション参加者へリアルタイムアンケート
 - 117名回答
 - 内訳
 - ウェブ開発者 60.68%
 - ウェブアーキテクト 10.26%
 - 企業/IT 経営者 17.09%
 - コンサルタント 7.69%
 - システム管理者 3.42%
 - ウェブデザイナー 0.89%

ColdFusionの利用について

- 運用サーバーで、どのバージョンのColdFusionを利用していますか？

<input type="checkbox"/>	ColdFusion 2016	11.02%
<input type="checkbox"/>	ColdFusion 11	66.10%
<input type="checkbox"/>	ColdFusion 10	26.27%
<input type="checkbox"/>	ColdFusion 9	27.97%
<input type="checkbox"/>	older than version 9	8.47%
<input type="checkbox"/>	other alternatives	10.17%

タグベース？ スクリプトベース？

- プログラムをタグベースで記述する割合と、スクリプトベースで記述する割合は？

0 %

50% script and 50% tag

100 %

0

Clear

スクリプトベース：

43%

タグベース：

57%

アプリケーションへのセキュリティ

- WebサイトにWAF（ウェブアプリケーションファイアウォール）の使用、もしくはセキュリティ（XSS, SQL Injection, fileアップロード, sessionハイジャック, CSRF, CRLF, パストラサーバルやパスワード辞書アタックなど）対処をプログラムで行っていますか？

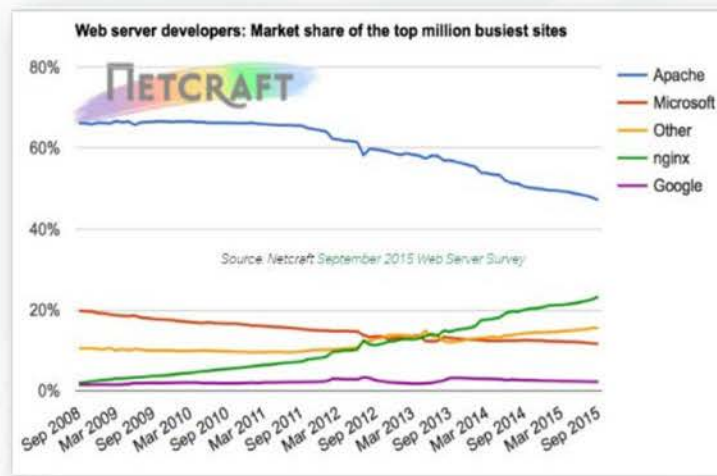
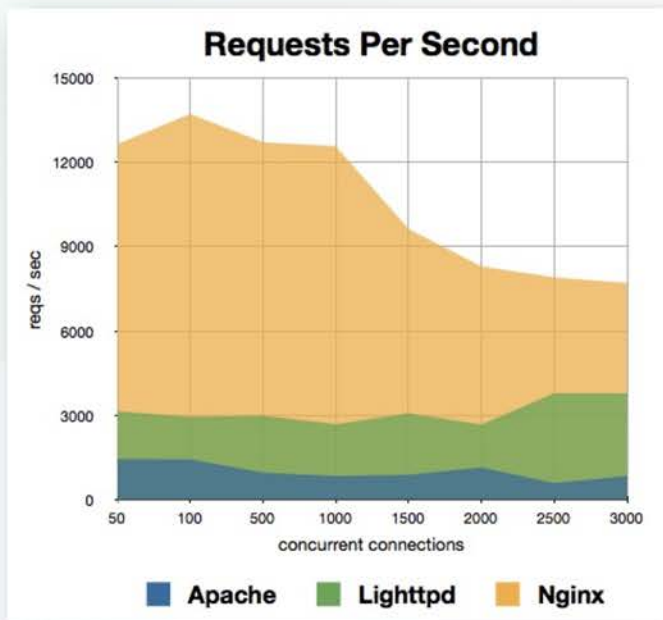
yes 42.24%

no 57.76%

COLDFUSIONのこれから

Nginx

- WebサーバーのシェアでApacheに次ぐ急成長中のNginxをサポート予定
 - ColdFusion 2016向けプレリリース開始



Performance

コミュニティの強化

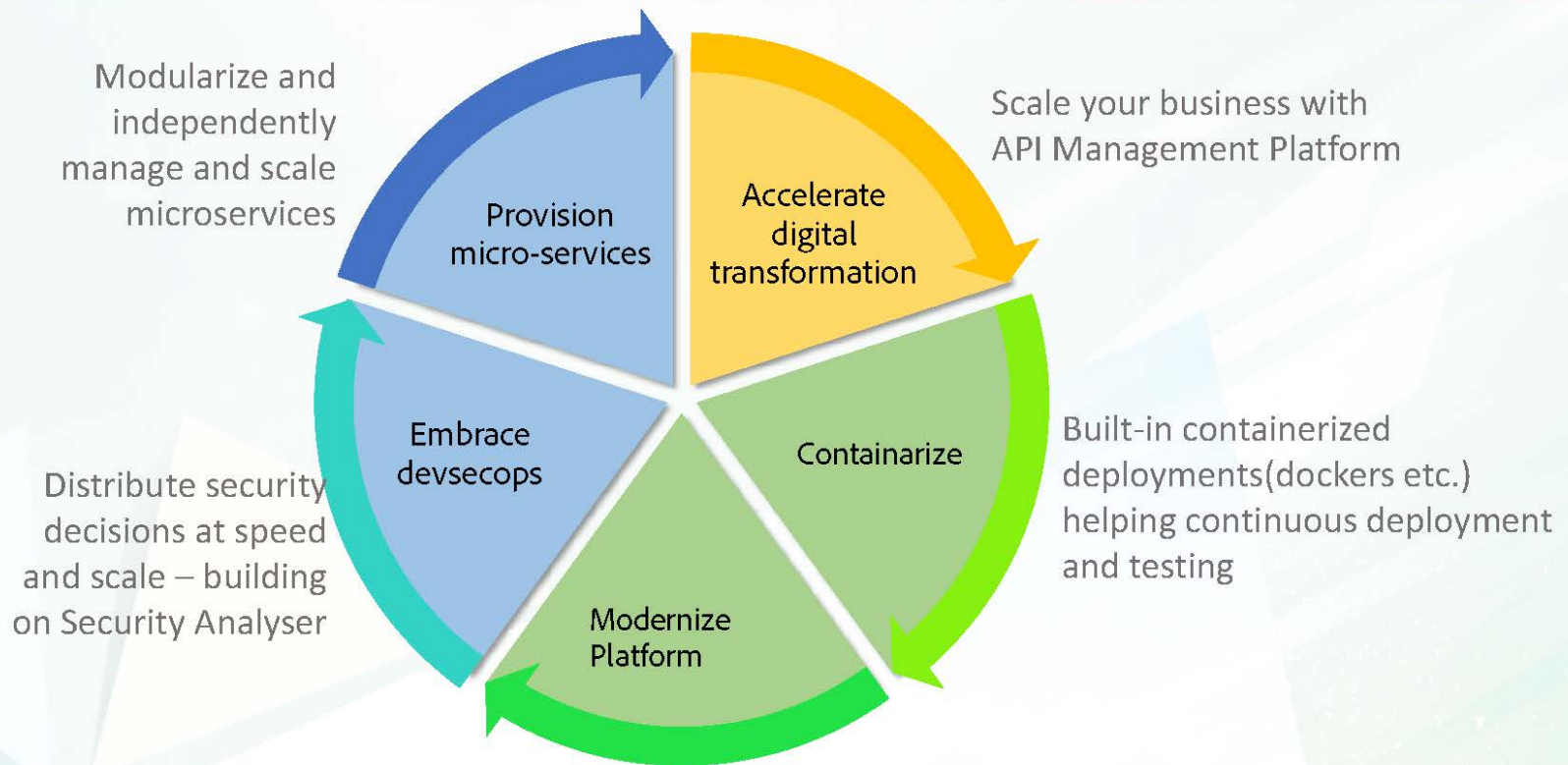
- JSFIDDLEのCF版
 - ブラウザ上でCFのコードを入力、実行、動作テストを行え、Webページにプログラムの実行ボタンを貼りつけたり、コードのシェアができるようになる予定

CF developers can now create, try, share CF applications – all from within the comfort of the browser.



次バージョン：Aether

Road ahead – ColdFusion Aether



コンテナ

- Dockerイメージ（等）
 - CF 2016, CF nextのコンテナイメージを予定
 - アドバンテージ
 - 開発環境・テスト環境・本番環境を同一のセットアップにして、デプロイやテストを継続化
 - アップグレードや再インストール時間の短縮
 - CFのノードの複製やバージョン管理
 - ポータビリティを簡素化し、複数のクラウドに対応
 - 分離 – アプリの実行をコンテナ内の独自スタックで
 - セキュリティ – 単体化と分離 – 他のコンテナへのハックを行えなくする

モダン化

- CFML言語のモダン化を推進
 - オブジェクト指向サポートを強化
 - 抽象クラス、static変数やメソッド、メソッドのオーバーロード、メンバ関数の追加、、、
 - cfscriptバージョン 2.0 だ！
 - `<cfscript version=2>`
cfdbinfo(type="tables",name="info") → info=dbinfo("tables")
 - Nullのサポート
 - マルチスレッドサポート
 - 関数やブロックレベルでの同期
 - "synchronized" キーワードの導入

セキュリティ

- アプリケーションのスケール化（拡大）にともなうアジャイル性（スピード）の鈍化の要因となりうるセキュリティを高める
 - Security Code Analyzer (CF2016~)
 - セキュリティを考慮したロックダウンツール
 - ビルトインの WAF(Web Application firewall)

Embrace devsecops

マイクロサービス

- パフォーマンスチューニングを細分化
 - 3つのレベル
 - Webサーバーとコネクタ
 - Autoチューナー？
 - アプリケーションモニター：JVMやDBチューニング
 - 新しいサーバーモニター？
 - プログラムレベルの問題
 - コードの品質改善を行うプロファイラ？
- 他
 - 特定機能ごとのサービスの分離や分散型キャッシュの検討

最新ロードマップ

Adobe ColdFusion Release Plan

ColdFusion 10
2012

ColdFusion 11
2014

ColdFusion 2016
2016

ColdFusion Aether
2018

ColdFusion Next+
2020

ColdFusion Next++
2022

5 Years Core Support
2 Years Extended Support
With Each Release

* Existing roadmap goes beyond 2031

Conclusion